

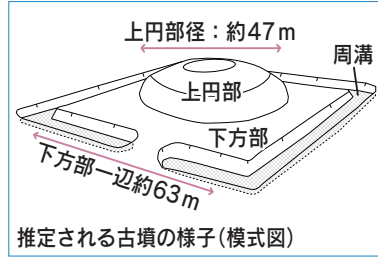
山王塚古墳を訪ねて

川越市街から入間川街道を西に向かうと、関越自動車道をくぐる少し手前の左手にこんもりした小山が見えてきます。市指定史跡の山王塚古墳です。この古墳は、全国的にも珍しい「上円下方墳」として知られています。

山王塚古墳はこれまで部分的な発掘調査のみで、詳細な築造年代・築造時の規模・埋葬施設・副葬品などはよく分かっていません。古墳が造られたとされる7世紀は、律令国家に向けて日本が大きく揺れ動いた時代です。武蔵国への渡来人の移住が始まり、霊亀



2年(716)には高麗郡が建郡されます。また、7世紀末には古代の官道である東山道武蔵路が建設されます。こうしたさまざまな政治的動向に、古墳の被葬者が関わっていた可能性が考えられます。古代の謎を秘めた山王塚古墳を、訪ねてみませんか。



春キャベツ

少し扁平型で固くしまっている冬キャベツと比べ、春キャベツは葉の巻き方がゆるく丸みがあります。ビタミンCを多く含むほか、胃炎回復に効果があるといわれるビタミンUが特徴的です。



「結球して20cmくらいになったら出荷時期です」と金子さん

かつて川越の仙波周辺では、水田の裏作として盛んに栽培されていました。昭和45年頃には市全体で124haの作付面積があり、春も田んぼ一

面がキャベツで緑一色だったそうです。

現在も田で春キャベツを栽培している金子勝治さん(仙波町)は、「葉に水分が多く、甘みがあり、サラダなどの生食にいいですね」。

稲作が終わった10月に種をまき、4月下旬から5月にかけて出荷しています。



真ん中の丸く結球している部分がどんどん大きくなります

市民農園を利用しませんか

市に登録されている農園(霞ヶ関地区、高階地区など)があります。詳しくは、農政課にお尋ねください。市民農園で、「自産自消」しませんか!



山崎耕一郎さん。川越まつりで実際に山車に乗っている人形も見てもらいたいですね」と大手町自治会長。あり実現。「長岡市の方たちに、ひ大手町の人形を」と話しが。所有する雛人形の作者が同じ仲秀英だったことから「ぜ

天 県指定文化財)が、長岡市(新潟県)で開催された「越後長岡ひなものがたり」に招かれました。これは、同人形の作者と旧長岡藩主・牧野家が

編集後記

どんぐり